



# 新見市1人1台端末 利活用促進計画

令和7年3月更新  
(Ver.2-1)

新見市教育委員会 学校教育課  
ICT教育推進係

# 新見市一人一台端末利活用促進計画



## 目的

一人一台端末利活用及び学校情報化を推進し、**児童生徒の資質・能力、情報活用能力の育成及び授業改善、校務改善**につなげる。

児童生徒・教職員が、

胸を張って、“タブレット端末を効果的に活用している!”

“児童生徒の資質・能力の向上に寄与している!” と言えるように、

新見市内でこれまでの成果や実績（新見市の強み）を共有し、

校務、授業や休み時間、家庭への持ち帰りでの

タブレット端末の活用（活用頻度）をさらに加速させていく。

# 新見市の強み



## ICT教育指導員・支援員等 支援・サポート体制の充実

- 週1回の巡回訪問
- 授業の支援・サポートや  
端末・機器等のトラブル対応
- チャットやエルガナ等での  
困りごと対応
- 指導員による校内研修支援
- 要望に応じた  
指導員・支援員の勤務変更



## ICT活用教育の 研究・推進の成果

- 過去10年以上の積み上げ
- システムに頼らない汎用的ア  
プリ(ソフトウェア)とクラウド  
の活用での児童生徒の主体  
的・協働的な授業の実現
- 授業実践事例報告での  
活用事例の共有
- 多様な教科・領域での  
活用研究
- 校務DXの研究



## ICT機器等の 環境の充実

- タブレット端末・IWB・校務  
系PC・公開系PC・複合機・  
周辺機器等の整備
- 多様な機会への  
Wi-Fiルーターの貸出
- フィルタリングソフトの導入
- ネットワークの増強
- 端末の整備・更新による  
1人1台端末環境の維持



# GIGA第1期の総括



## 成果

- ・ICT指導員・支援員の配置やチャットを活用した情報連絡により各校の困りごとに迅速に対応
- ・公開授業の実施や実践事例集の作成による効果的な活用方法の共有

## 課題

- ・教員間や学校間で端末の活用に差が見られる
- ・端末の持ち帰り実施率が低い⇒家庭学習での活用が不十分

## 解決策

- ・各校が端末活用や持ち帰りをしやすい環境の整備
- ・授業と家庭学習をつなぐ効果的な活用方法の研究  
⇒ 県高校教育課教育情報化推進室キャラバン研修の活用等

**目的** 一人一台端末利活用及び学校情報化を推進し、**児童生徒の資質・能力、情報活用能力の育成**及び**授業改善、校務改善**につなげる。

## 学校教育の情報化に関する基本的な方針、目標、目標を達成するための施策等①



主に学校を中心に取り組む

### ① 児童生徒の資質・能力の育成（個別最適・協働的な学びの充実）

#### 目標

ICTの効果的な利活用を推進し、資質・能力、情報活用能力を育成するための教育を充実させる。

#### 主な取組

- ・国や県の調査によるICT活用状況や効果等の把握
- ・児童生徒の資質・能力の伸長等に効果的なICT活用事例の蓄積・共有と授業改善
- ・発達段階に応じた計画的な情報活用能力の育成

**現況指数** ※全国学力調査  
児童生徒質問紙・  
学校質問紙等

#### R6年度

■①児童生徒が自分で調べる場面での活用（週3回以上）

小85.8%  
(県80.8%)  
中80.0%  
(県69.1%)

■②児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面での活用（週3回以上）

小57.2%  
(県59.6%)  
中60.0%  
(県52.9%)

■③教職員と児童生徒がやりとりする場面での活用（週3回以上）

#### R6年度

小78.6%  
(県63.5%)  
中40.0%  
(県55.5%)

■④児童生徒同士がやりとりする場面での活用（週3回以上）

小57.1%  
(県48.2%)  
中40.0%  
(県43.8%)

■⑤児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面での活用（週3回以上）

#### R6年度

小57.2%  
(県54.4%)  
中20.0%  
(県33.5%)

#### 目標指数

#### R8年度

①…………… 100%

②～⑤……… 80%

**目的** 1人1台端末利活用及び学校情報化を推進し、**児童生徒の資質・能力、情報活用能力の育成及び授業改善、校務改善**につなげる。

## 学校教育の情報化に関する基本的な方針、目標、目標を達成するための施策等②



主に学校を中心に取り組む

### ②教職員のICT活用指導力の向上・個に応じたICT活用の実施(学びの保障)

#### 目標

ICT教育指導員・支援員等と協力し、教職員の資質向上、校務の効率化のための研修の充実を図る。

#### 主な取組

- ・「学校情報化認定」を活用した学校の実態把握
- ・学校CIO管理職や担当者による校内研修の充実  
※担当者:【GIGAスクール構想推進】【情報教育】【ドローンプログラミング】【校務支援システム】
- ・ICT教育指導員・支援員等を活用した研修
- ・個々の児童生徒に応じたICT活用の推進

現況指数 ※令和6年度1人1台  
端末活用状況等調査等

R6年度

R6年度

目標指数

R8年度

■①希望する不登校児童生徒への支援(授業配信を含む)

市内全小中学校で実施可能

■③外国人児童生徒の支援

該当なし

①～④...

希望・該当者  
100%

■②希望する児童生徒へ端末を活用した教育相談

市内全小中学校で実施可能

■④支援を要する児童生徒の実態に応じて端末を活用した支援

市内全小中学校で実施可能

主に教育委員会を中心に取り組む

### ③ICTを活用するための環境整備等

#### 目標

学校におけるICT活用のための環境整備及び授業改善に向けた研修等の充実を図る。

#### 主な取組

- ・児童生徒の学びに支障が生じない  
安定した通信環境の確保
- ・校務や指導に使用する端末の導入やツールの検討
- ・研修等による情報共有

現況指数 ※全国学力調査  
学校質問紙

R6年度

■ICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられている

小64.3%  
(県36.2%)  
中100%  
(県34.2%)

■教職員と家庭との連絡で、ICT機器をどの程度活用しているか。(よく活用している割合)

小21.4%  
(県34.3%)  
中80.0%  
(県36.8%)

目標指数

R8年度

100%

# 学校での活用促進体制

日常的な情報交換  
良い事例・失敗事例の共有など



管理運用責任者(CIO)のリーダーシップのもと、GIGAスクール構想推進担当者を中心に、職員全体で研修や取組を行う

- ICT教育環境の充実及び校内LANについての総括
- 校内のICT機器の適切な管理運用
- 報告書や調査等の確認・指導

- 授業公開の依頼
- 研究課題の提案・研修会の開催
- 堪能な教職員と苦手な教職員の中継ぎ
- 委員会との窓口



校内でGIGAスクール構想の推進を主に担当する教員のこと  
ICT教育の充実及びタブレット端末を含めた

**ICT機器の利活用の推進**

- 系統的・計画的・継続的な情報モラル教育の推進
- 実態や課題に応じた自校の取組の推進
- 情報教育担当者とは別に定めることが望ましい

推進の後押し  
授業公開の依頼

連携

実践支援  
研修の要望収集



相談・協力



**好事例を共有**  
iPad・IWB・デジタル教科書  
など(Chromebookを活用している自治体もある)



事務局	2名
ICT教育指導員	3名
支援員	3名

# 日常的な活用促進のポイント



## 小学校

### 活用促進ポイント (5・6年生を想定)

チェック



#### ① 端末をすぐに使える環境を整えている

充電完了の状態、机の中に入れる、バッグに入れて机の横に掛けるなど、すぐに使える環境が整えられている。

※ すべての学年、学級で実施している学校もある。

※ 使うときに保管庫へ取りに行く状態は、日常的な活用が進みにくいと考えられる。

#### ② キーボードによる文字入力(タイピング)の練習に取り組んでいる

Webサイトを利用したタイピング練習を奨励し、「ホームポジション」の指導、一定時間に入力する文字数の目標設定などを行う。

※ 「朝自習で全校一斉に実施する」「低学年からローマ字表を活用して入力に親しんでいる」学校もある。

#### ③ 自分で端末活用を選択する機会を設ける

課題に応じて調べる場面では、教科書や資料集、図書、インターネット等から適切な手段を選択する経験を通して「情報活用能力」の育成を図っている。

※ 学習の成果(まとめ、作成物)等について、児童が目的や状況に応じて「手書きでノート等にまとめる」「端末を使ってまとめる」ことを選択して取り組む学校もある。

#### ④ 全体共有した児童の考えを基に更に深める

県内の多くの学校の授業で、児童が端末を使って考えや立場を簡易的に表し、学級全体で共有することが増えている。その後の比較、分類、関連付け等の学習活動を重視している学校は効果を実感し、更に多くの授業で取り入れる傾向がある。

#### ⑤ 端末を使って学習の「振り返り」を書く

端末を使って振り返りを書くことに慣れると、「書く量や質が変わることはない」という声があるが、リアルタイムで更新されるアプリ等を活用することで、児童は友達の振り返りを自分の学びに生かす「他者参照」という学び方を身に付けることができる。

※ 自己の変容を算数や体育等、一部の教科から始めている学校もある。

#### ⑥ 交換授業により端末活用が推進される

国語と算数、社会と理科、音楽と体育など、担任同士で授業を交換し合うことに伴って端末活用が推進された学校がある。

※ 教師が2クラス以上の児童の学習状況を効率的に把握できること、児童が自分のクラス以外の友達のデータも得ながら学習を深めることなどのメリットがある。

#### ⑦ 連絡帳は「端末で確認」に移行

児童が連絡帳へ書く時間や担任がチェックする時間の削減につながる。

※ 端末の持ち帰りが日常化し、毎日連絡帳に書いていた時間割や宿題は、端末で確認するように移行した学校もある。



# 日常的な活用促進のポイント



## 中学校

	活用促進ポイント	チェック ☑
① 端末はいつでも使えるようにしてある	<p>机の中に入れる、バッグに入れて机の横に掛けるなど、自分で管理しすぐに使える環境が整えられている。</p> <p>※ 休み時間の利用は、設定したルールに従って生徒が自分の意思で自由に使える学校もあり、「デジタル・シティズンシップ教育」を推進している。</p>	
② 各自の考えを他者と共有・比較する活動を行っている	<p>情報収集や整理・まとめなどの過程において、<u>途中経過を生徒同士で確認</u>することができる。</p> <p>※ 難しい課題に直面したときは、<u>入力された情報を基に友達や先生に自分から助言を求めることができるようになる</u>など、生徒の学び方に変容が見られる。</p>	
③ 端末を活用した小テスト等を実施している	<p>端末を活用したテストを実施することで、<u>結果をすぐにフィードバックして授業に生かしている</u>。</p> <p>※ 教師が行う採点の時間を削減することができる。</p> <p>※ 学校全体の取組として週1回15分程度、<u>端末を活用したテストを実施している学校もあり、テストに向けて学習に励む多くの生徒の姿が見られる</u>。</p>	
④ 端末を使って授業の「振り返り」を書く	<p>「他者参照」が可能になり、多くの級友の気付きや学び方等を吸収することによって、<u>自身の今後の学びに生かすことができるようになった生徒もいる</u>。</p> <p>※ 全教科の授業において、<u>振り返りの記述を端末を使って行っている学校がある</u>。</p>	
⑤ ほぼ毎日端末を持ち帰り家庭等での活用を推進している	<ul style="list-style-type: none"><li>個人で学習の成果をスライドにまとめる等、クラウドを活用した課題を出す。</li><li>自主学習でAIドリル等の活用を推進し、生徒が個別最適に学習できる取組を推進する。</li><li>生徒会活動等でオンライン会議を企画し実施している。</li></ul>	
⑥ 端末の活用方法について生徒と共に考えている	<p>生徒が提案する有効な端末の活用方法を取り入れている。</p> <p>※ 例えば、学習した内容のフォローアップについて、生徒がプレゼンテーションアプリ等を活用してまとめたものに解説を加えた「学習動画」を作成し、学級、学年等で共有する取組を推進している学校がある。</p>	
⑦ 生徒の内面理解のために端末を活用している	<p>毎朝の健康観察を端末を活用して行う際、教育相談の項目を取り入れることで、入力された内容から生徒の抱えている悩みを複数の教員で共有している学校があり、早期把握と適切な支援につながった例もある。</p> <p>【参考】令和5年7月10日児童生徒の自殺予防に係る取組について(通知) 文部科学省 ・Google フォーム・Microsoft Forms を用いた健康観察、相談窓口の作成方法について <a href="https://www.mext.go.jp/content/20230711-mext_jidou02-000030865_003.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230711-mext_jidou02-000030865_003.pdf</a></p>	

# ICTを活用した授業改善



ICTの得意な部分を  
日常使いの中で生かしていく

## 児童生徒に 学びを委ねた授業

児童生徒が少しずつできるように委ねていく。  
(鍛えることが必要!)

## 個に応じた 課題解決

個別最適な学びでは、最適かどうかは学習者本人が決めることであり、教師はファシリテート(支援)する立場である。

## 児童生徒が 学びを決定する

- ・その児童生徒にとって学びになったか、どれだけできるようになったかがポイント。
- ・学習内容の確実な定着(自ら学習を調整)のために、学び手としての上達を振り返る活動や学習内容の理解を深め、広げる活動(自ら学習を調整)を行う。

## 校内研修の反省 へのアプローチ

- ・対話の深まり
- ・時間配分
- ・発言の偏り
- など

## 複線型の授業 (単線型からの脱却)

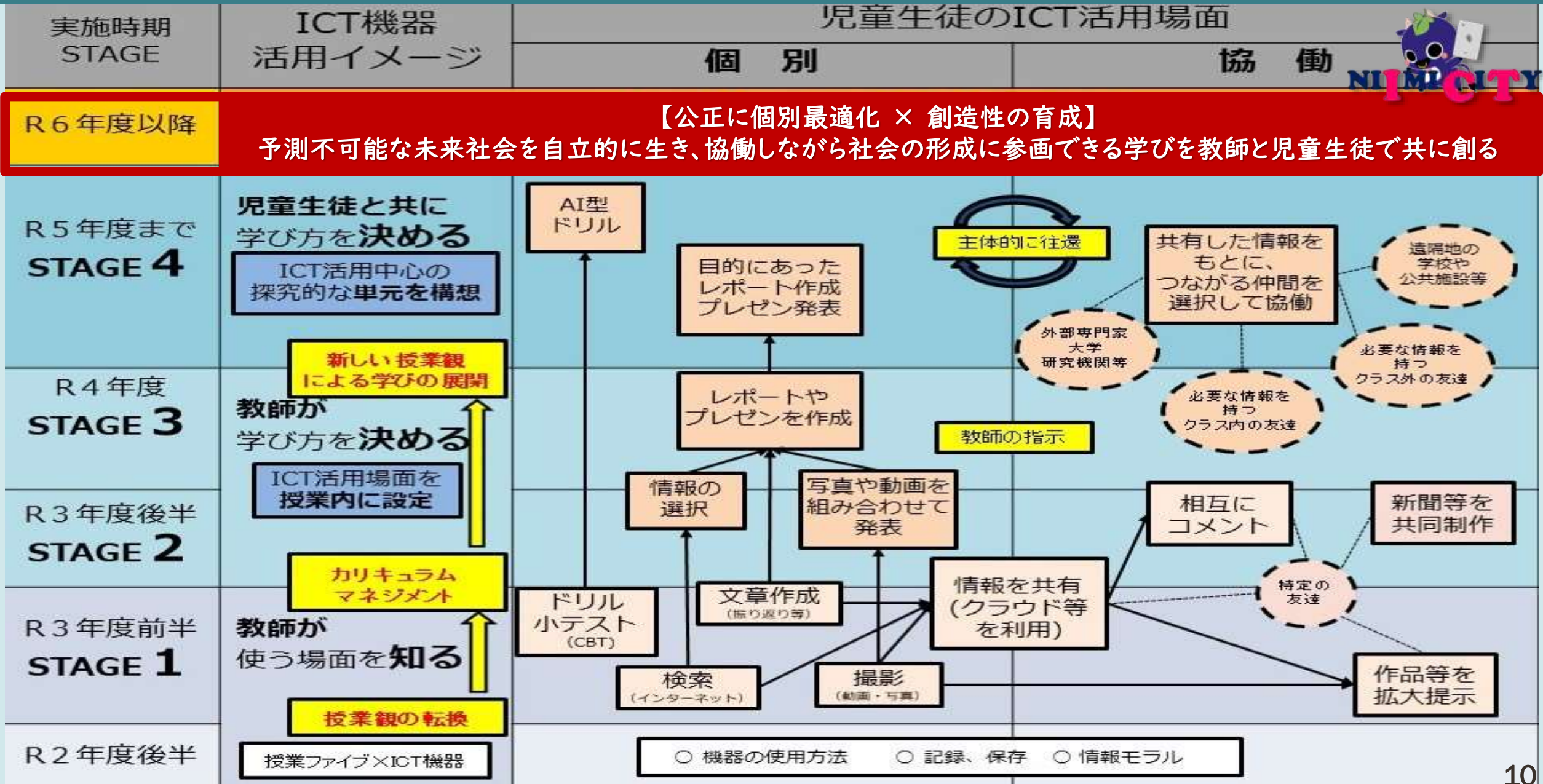
児童生徒一人一人が自らハンドルを握り、自分で考え、自分のペースでゴールを目指す。

## 授業以外での 学びの充実

- ・休み時間や家庭での学びを授業で共有する。
- ・児童生徒の端末及びクラウド環境への慣れは学習以外のところで行う。

□ 学校間・教員間の活用格差をなくす。 □ 児童生徒の活用を日常使いにする。 □ 教職員が校務で積極的に活用する。 9

# 【岡山県版】ICT機器 授業活用1・2・3(新見用アレンジ)



令和6年度以降

公正に個別最適化 × 創造性の育成

予測不可能な未来社会を自立的に生き、  
協働しながら社会の形成に参画できる学びを  
教師と児童生徒で共に創る

第3期

活用を継続し、主体的に学びに生かす段階（令和5年度まで）

岡山県の示すイメージ【STAGE3】

- 児童生徒とともに学び方を決める段階「探究的な学習×主体的なICT活用」

新見市の描くイメージ【STAGE4】

- 授業づくり(課題の設定など)への模索と挑戦の段階
- 生きた情報モラル教育の実践

第2期

利用場面拡大の段階（令和3年度後半）

第1期

操作に慣れる段階（令和3年度前半）



# 学校情報化優良校認定を契機とした情報化推進に向けて



## 学校の情報化推進

⇒ 学校教育全般に大きく関わり、授業、校務、働き方等の改善に欠かせない

## 今後数年間の大きな変革

1人1台端末  
更新

教育DX推進

全国学力・学習  
状況調査  
(CBT)

学習者用  
デジタル教科書  
導入

1人1台端末環境下での  
学習指導要領改訂

後手に回ってしまうと、学校教育全般が滞ることに…



# 学校情報化認定制度とは



学校単位で積極的に「情報化の推進体制」を整え、  
「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」  
に取り組む学校を学校情報化優良校として認定する制度

日本教育工学協会  
〔文部科学省後援〕



3年毎に更新  
するシステム

参照

【リーフレット】学校情報化認定<学校情報化システム>

# 学校情報化優良校認定の目的と目指す姿



県全体で認定を目指す目的

学校が情報化推進に受け身にならず、  
自走していく手段として認定を目指す

情報教育	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
ICTの基本的な操作の習得	基本的な操作スキルを習得させるための指導内容や環境が整備されている。	基本的な操作スキルを習得させるための指導が計画的に行われている。	学校全体の指導計画に位置付け、基本的な操作スキルを習得させるための指導が行われている。	学校全体の指導計画に位置付け、基本的な操作スキルを習得させるための指導の充実について評価されている。
情報活用能力の育成・評価	情報活用能力の育成を基にした学習活動の内容や環境が整備されている。	情報活用能力を育成する学習活動が計画的に行われている。	情報活用能力を育成する学習活動が計画的に行われ、中核として取り込まれている。	情報活用能力を育成する学習活動が計画的に行われ、中核として取り込まれ、評価されている。
プログラミング教育	プログラミングに関する学習活動の計画が立てられている。	プログラミングに関する学習活動が計画的に行われている。	プログラミングに関する学習活動が計画的に行われ、中核として取り込まれている。	プログラミングに関する学習活動が計画的に行われ、中核として取り込まれ、評価されている。
情報モラル	児童生徒の情報モラルを指導・育成するための指導計画が立てられている。	児童生徒の情報モラルを指導・育成するための指導が計画的に行われている。	児童生徒の情報モラルを指導・育成するための指導が計画的に行われ、中核として取り込まれている。	児童生徒の情報モラルを指導・育成するための指導が計画的に行われ、中核として取り込まれ、評価されている。
児童生活のICT活用環境の整備	児童生活のICT活用環境が整備されている。	児童生活のICT活用環境が整備されている。	児童生活のICT活用環境が整備されている。	児童生活のICT活用環境が整備されている。

例

- 学習の定着のためのICT活用
- ICT活用による学力向上
- ICTの基本的な操作の習得
- 情報活用能力の育成・評価
- プログラミング教育の実施
- 情報化推進組織・校務分掌
- 教員のICT活用指導力と校内研修

教職員が入れ替わっても、ある期間ではなく継続した取組になる仕組みづくり

# 学校情報化認定に取り組むメリット



- 学校情報化チェックリストでチェックしていく過程で、自校の強み、足りない部分を確認でき、今後の努力目標が明確になる。
- 教職員全員で教育の情報化を見直す機会となる。
- 定期的に自己評価を行うことで、情報化の進捗状況を把握することができる。



# 優良校認定を受けた学校の声



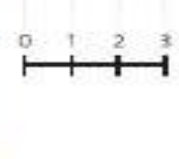
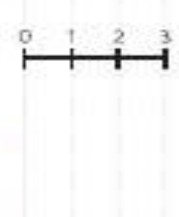
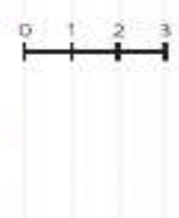
- 学校全体の**情報化**を**総合的に進める**ことができる。
- 職員に自校の情報化の現状をきちんと理解させる**きっかけ**となる。
- 情報化の**状況**を**客観的に把握**でき、教育委員会や地域、保護者への**アピール**が**可能**となった。
- 認定証**を校長室に置いてあるので、来客に紹介して**自校のアピール**に使える。

# 教科指導におけるICT活用



	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
<b>教材研究・指導の準備・評価等におけるICT活用</b> 	ほとんどの教員が、授業の準備と評価のためにICTを活用している	ほとんどの教員が、授業の準備と評価のために日常的にICTを活用している	すべての教員が、授業の準備と評価のためにICTを活用している	学校全体で、さまざまな評価結果をもとに、ICTを活用した授業改善に取り組んでいる
<b>教員のICT活用</b> 	ほとんどの教員が、教科等の指導にICTを活用している	ほとんどの教員が、教科等の指導に日常的にICTを活用している	すべての教員が、教科等の指導に日常的にICTを活用している	学校全体で、教科等の指導に日常的にICTを活用し、より効果的な活用方法について研究している
<b>学習の定着のためのICT活用</b> 	学習内容を定着させるための個別学習、繰り返し学習等において、児童生徒のICT活用がみられる	学習内容を定着させるための個別学習、繰り返し学習等における児童生徒のICT活用が、一部の学年や教科で計画的に行われている	学習内容を定着させるための個別学習、繰り返し学習等における児童生徒のICT活用が、学校全体の指導計画に位置付けられている	学習内容を定着させるための個別学習、繰り返し学習等における児童生徒のICT活用が、学校全体の各教科等にも導入されているとともに、遠隔学習でのICT活用と連動し、オンライン学習にも対応している
<b>ICT活用による学力向上</b> 	ICT活用が学力向上に効果があることを一部の教員が実感している	ICT活用が学力向上に効果があることをほとんどの教員が実感している	学校として、ICT活用が学力向上に効果があることをデータによって把握している	ICTを効果的に活用することによって、主体的・対話的で深い学びを実現しているエビデンスを示すことができる
<b>普通教室における指導用ICT環境</b> 	一部の普通教室に大型提示装置が整備されているか、または学年等で共有している	すべての普通教室に大型提示装置が常設されている	すべての普通教室に大型提示装置が常設されており、実物映像装置やデジタル教科書等のコンテンツが整備されている	すべての普通教室・特別教室に大型提示装置が常設されており、実物映像装置やデジタル教科書等のコンテンツの整備に加え、ICT活用が標準的にできるように機器の配置等が工夫されている

ICT活用が、授業の準備・評価等において、効果的に取り組まれているか



# 情報教育



	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
<b>ICTの基本的な操作の習得</b> 	基本的な操作スキルを習得させるための指導内容や進度が教員個々に任されている	基本的な操作スキルを習得させるための指導が計画的に行われている	学校全体の指導計画に位置付け、基本的な操作スキルを習得させるための指導が行われている	学校全体の指導計画に位置付け、基本的な操作スキルを習得させるための指導の効果について評価している
<b>情報活用能力の育成・評価</b> 	情報活用能力の育成を意図した学習活動の内容や進度が教員個々に任されている	情報活用能力を育成する学習活動が計画的に行われている	情報活用能力を育成する学習活動が指導計画に位置付けられ、学校全体として取り組んでいる	情報活用能力を各教科等の学習と効果的に連携付けて育成するためのカリキュラム・マネジメントが有効に働いている
<b>プログラミング教育</b> 	プログラミングに関わる学習活動の内容や進度が教員個々に任されている	プログラミングに関わる学習活動が計画的に行われている	プログラミングに関わる学習活動が指導計画に位置付けられ、学校全体として実施されている	プログラミングに関わる学習活動が指導計画に位置付けられ、学校独自で工夫しながら計画的に実施されている
<b>情報モラル</b> 	児童生徒の情報モラルを指導・育成するための授業が実施されていないが、指導する内容や進度が教員個々に任されている	児童生徒の情報モラルを指導・育成するための授業が計画的に実施されている	児童生徒の情報モラルを指導・育成するための授業が、家庭、地域と連携しながら、計画的に実施されている	情報モラルを育成するためのカリキュラムを作成し、家庭、地域と連携しながら、計画的に実施し、評価や検証を行っている
<b>児童生徒のICT活用環境の整備</b> 	学習者用端末や無線LAN等が1人1台の活用に対応できるような整備されていない	学習者用端末や無線LAN等が整備されており、授業展開に応じて児童生徒が1人1台を活用する環境が整備されている	学習者用端末やアカウント、無線LAN等が整備されており、全ての児童生徒が日常的に1人1台を活用しており、クラウドの活用、オンライン学習、持ち帰り等にも対応している	学習者用端末やアカウント、無線LAN等が整備されており、全ての児童生徒が日常的に1人1台を活用しており、クラウドの活用、オンライン学習、持ち帰り等にも対応している

ICT活用が、授業の準備・評価等において、効果的に取り組まれているか



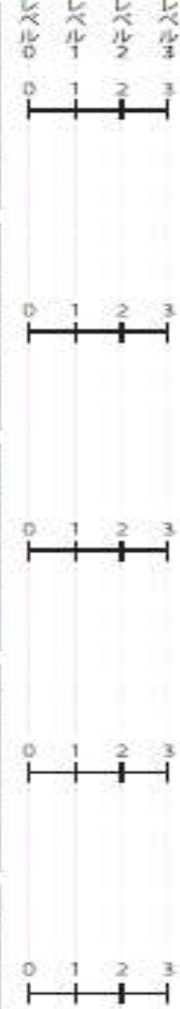
【プログラミング教育】について  
 ■中学校・高等学校  
 中学校では「必修・家庭科(総合的分野)」, 高等学校では「情報科」の指導計画に位置付けられ、実施されています。

# 校務の情報化



	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
<b>校務用PCと校務支援システムの整備・運用</b> 	教員1人1台の校務用PC、セキュリティソフトが整備され、運用されている	教員1人1台の校務用PC、セキュリティソフト、校務支援システム等が整備され、運用されている	教員1人1台の校務用PC、セキュリティソフト、校務用ネットワーク、統合型校務支援システムが整備され、運用されている	教員1人1台の校務用PC、セキュリティソフト、校務用ネットワーク、安全が確保されたクラウド型の統合型校務支援システムが整備され、効果的に運用されている
<b>業務改善・効率化</b> 	校務の情報化によって、校務が効率化されたが、負担軽減にはつながっていない	校務の情報化によって、校務が効率化され、負担軽減につながっている	校務の情報化によって、校務全般が効率化され、負担軽減がなされている	校務の情報化によって、校務全般が効率化され、負担軽減がなされている。さらに、評価情報の共有・活用により、授業改善、業務改善につながっている
<b>学校ウェブサイト</b> 	学校ウェブサイトを開発しているが、更新の頻度は少ない	学校ウェブサイトを開発しており、定期的に更新している	学校ウェブサイトを開発しており、行事や学習活動の様子等を日常的に公開し、電子メールの一斉配信等保護者への連絡手段を有している	学校ウェブサイトで日常の活動の様子や学校評価等を情報公開しており、電子メール等により保護者とのコミュニケーションを行なっている
<b>保健・図書・一般事務等の情報化</b> 	保健・図書・一般事務等で扱うデータや文書等のデジタル化はほとんどなされていない	保健・図書・一般事務等で扱うデータや文書等の多くをデジタル化している	保健・図書・一般事務等で扱うデータや文書等のほとんどはデジタル化され共有されており、一部はデータベース化されている	保健・図書・一般事務等で扱うデータや文書等がデータベース化されており、担当者の効率的な連携やペーパーレス化などが進められている
<b>情報化に関する規則の遵守</b> 	校務の情報化に関わる情報セキュリティや個人情報、著作権等の取り扱いなどの指針を定めている	校務の情報化に関わる情報セキュリティや個人情報、著作権等の取り扱いなどの指針の周知徹底が進められている	校務の情報化に関わる情報セキュリティや個人情報、著作権等の取り扱いなどの指針に従って、適切に運用・推進されている	校務の情報化に関わる情報セキュリティや個人情報、著作権等の取り扱いなどの指針が徹底され、遵守されているから続いている

課題・問題の抽出が図られている状態  
課題として抽出・取組が図られている状態  
部分的に取組まれている状態  
取組みが不十分な状態



# 情報化の推進体制



	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
<b>管理職のリーダーシップと学校の情報化のビジョン</b> 	学校の全体計画に情報化が位置付けられており、管理職の役割が明確になっている	学校の全体計画に情報化が位置付けられており、管理職のリーダーシップが発揮されている	学校の全体計画に情報化が位置付けられており、管理職を含むリーダーシップチームにより推進されている	学校の全体計画に情報化が位置付けられており、管理職を含むリーダーシップチームにより、持続的・計画的な教育の情報化が推進されている
<b>情報化担当教員</b> 	情報化担当教員(情報主任等)が学校の情報化の普及に努めている	情報化担当教員(情報主任等)が管理職と連携して、学校全体の情報化の普及・定着に寄与している	情報化担当教員(情報主任等)が管理職と連携して、学校全体の情報化の普及・定着のために貢献している	情報化担当教員(情報主任等)が中心となって、教科横断的なカリキュラム・マネジメントを行い、学校全体の情報化に持続的・計画的に差進している
<b>情報化推進組織・校務分掌</b> 	情報化を推進する組織が校務分掌に位置付けられている	情報化を推進する組織が校務分掌に位置付けられ、学校全体の普及・定着に寄与している	管理職、情報化担当教員(情報主任等)、情報化を推進する組織が一体となって、学校全体の情報化の普及・定着のために貢献している	情報化を推進する組織が機能し、学校全体の情報化による教育改善が実現している
<b>教員のICT活用指導力とその向上のための校内研修</b> 	校内研修は行われているが、教員のICT活用指導力の向上は限定的である	日常的な情報交換に加え、ICT活用指導力向上のための校内研修が計画的に行われている	校内研修が計画的に行われており、ほとんどすべての教員がICT活用指導力を身に付けている	より高いICT活用指導力を身に付けるために、校内研修が工夫され、ICTを活用した授業研究が計画的に実施されている
<b>外部との連携、外部人材の活用</b> 	情報化の推進のために教育委員会を含む外部から何らかの支援を受けている	情報化の推進のために教育委員会を含む外部からの支援を受けたり、ICT支援員の配置や外部人材の活用を行ったりしている	情報化の推進のために大学や企業等外部からの支援を受けたり、ICT支援員の配置や外部人材の活用を行ったりしている	研究指定・助成や大学・企業等との連携等、情報化の推進のための外部支援を受けたり、ICT支援員の配置や外部人材の活用に関する取組んでいる

課題・問題の抽出が図られている状態  
課題として抽出・取組が図られている状態  
部分的に取組まれている状態  
取組みが不十分な状態

